

自然保護の窓

第9期霊長類保護委員会より

1. 新保護委員会の体制について

第9期の保護委員会は以下の理事3名、幹事3名で構成されます。

理事：松沢哲郎（動物福祉）、古市剛史（渉外理事兼任）、室山泰之

幹事：鳥居隆三（動物福祉）、斉藤千映美、杉浦秀樹

前期保護委員会では、和歌山タイワンザルをはじめとする外来種問題を大きな柱として活発な活動を展開してきました。その一方、各地で農林業被害を引き起こしているニホンザルの保全・管理や、飼育下ニホンザルの動物福祉についても、学会大会での自由集会などで取り組んできました。今期も引き続き、多様な問題にさまざまな形で幅広く取り組んでいきたいと考えています。

（室山泰之）

2. 和歌山県タイワンザル交雑群に関する報告

日本霊長類学会は、和歌山県大池遊園周辺地に生息しているタイワンザルとニホンザルの交雑群について、保護委員会を中心に現状調査と問題提起および啓発に努めてきました。和歌山県は、交雑個体群の排除を目的とした特定鳥獣保護管理計画を策定し、捕獲除去を実施してきました。特定鳥獣保護管理計画は2005年3月末に終了しましたが、その後も和歌山県や環境省の事業として捕獲努力が続けられています。保護委員会では、2004年に交雑群の生息実態調査を実施しましたが、2006年にも再度調査する予定です。またこの問題と関連して、第21回霊長類学会大会において自由集会「ニホンザルをめぐる外来種問題の現状と課題」を開催しました。

（室山泰之）

3. 第21回大会での物品販売および寄付金について

日本霊長類学会第21回大会開催中の物品販売および寄付金の決算をご報告いたします（表1）。寄附にご協力くださった会員のみならず、および物品販売にご協力くださった方々に感謝いたします。従来より原則として無人販売を実施していますが、大会期間中販売にご協力くださった方々にも厚く御礼申し上げます。

前回第20回大会から、会員より提供していただいた物品を買い取り、自然保護物品として販売しております。今年も数名（グループ）の方々からご提供いただいた物品を販売し、たいへん好評でした。ご協力に深く感謝いたします。

（室山泰之）

表1 第21回大会における自然保護物品の販売売上額、および寄付金額

品目	単価（円）	個数	金額
テレホンカード（イラスト）	500	3	1500
テレホンカード（ニホンザル）	600	1	600
テレホンカード（テナガザル）	600	1	600
絵はがき（イラスト）	50	10	500
絵はがき（写真）	300	17	5100
クリアフォルダー	200	1	200
プレスファイル	400	0	0
リユースラベル（旧）	150	13	1950
ボールペン	50	2	100
フロッピーケース	200	0	0
OAリビタック	150	1	150
リユースラベル ¹⁾	100	21	2100
照明付ボールペン ¹⁾	800	6	4800
手ぬぐい（白） ¹⁾	500	8	4000
手ぬぐい（染め） ¹⁾	700	34	23800
物品販売合計			45400
寄付金			11550

¹⁾ 会員からの買取販売物品